

歳時記

立春

春立つ——ことしの立春は二月五日、節分の翌日です。

この日から、暦の上では春といふことになるのですが、日本は南北に細長い国ですから、地域によって気候はずいぶん違います。

このころ沖縄では緋寒(ひかん)ガクラが散りはじめます。有名な名産城跡のサクラまつりは、これより少し前の一月下旬です。一方このころ、北海道では「さつばろの雪まつり」がたけなわです。札幌を皮切りに、道内各地の雪まつりが、二十日ごろまで続きます。

「春立つ」とはいえ、雪国が本格的な春雪に見舞われて、雪害が出るのも、むしろ立春以降に多いようです。

また、東京あたりはまだ冬ですが、心なしか木の芽の色つやがよくなっているように思えるのが、このころです。昔の東洋の暦では、立春が年の初めでした。それで前の日の節分には掃除をし、邪気を払ったわけですが、その名残が福豆をまいて鬼を追う今日の豆まきだといわれています。また、八十八夜、二百十日なども立春を起点に数えます。

立春は、わたしたちの暮らしの中の一つの「節目」だったのです。

立春

歳時記

将棋名人戦に参加を

町民相互の親睦と融和をはかる目的で新春将棋名人戦大会を次の要項で行います。愛好者多数参加されますよう案内します。

一 期日 二月三日(日曜日)

二 時間 午前九時三十分から

三 会場 黒埼町中央公民館

四 参加費 大人 一〇〇〇円

健康づくりは食生活から



町の食生活改善推進委員は、全町民から正しい食生活の基本を身につけてもらい、健康な体づくりを推進するため日夜活躍しています。

町民相互の親睦と融和をはかる目的で新春将棋名人戦大会を次の要項で行います。愛好者多数参加されますよう案内します。

一 期日 二月三日(日曜日)

二 時間 午前九時三十分から

三 会場 黒埼町中央公民館

四 参加費 大人 一〇〇〇円

正しい敬語12

「お」の使い方

つけすぎにご用心

「お」を伴う敬語の表現はいろいろあります。

「おたよりありがとうございます」「お元氣ですか」「お客様はお帰りになりました」「これは敬語です。」「お手紙を差し上げます」「先日お借りした本をお返しいたします。」「これらは敬語です。」「動詞に「お」をつける場合「お〇〇になる(尊敬)」、「お〇〇する」(謙譲)の区別が大切」です。

また、謙譲語で「お手紙」のように自分の側に「お」をつけるのは、それが相手に関係するものだからです。

「お正月」「おサルさん」これからは物言いを上品にやさしくするための丁寧語で、特に

おもな活動内容は、年数回、研修会を開き活動事項を決め、家庭訪問による食事診断・調理実習の伝達、ボランティア活動として、脳卒中後遺症者に適した中食作りまた郡内の精神障害者家族会議の設立総会など、お弁当作りを行ったりして、たいへん喜ばれています。

委員の皆さんは、正しい食生活の改善普及に一生活ん命です。住民の皆さんも、一緒になって健康づくりをさらに推進するよう、ご協力下さい。

▲一生活ん命な食生活改善推進委員。

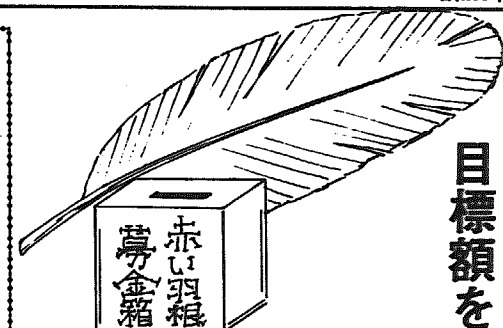
おもな活動内容は、年数回、研修会を開き活動事項を決め、家庭訪問による食事診断・調理実習の伝達、ボランティア活動として、脳卒中後遺症者に適した中食作りまた郡内の精神障害者家族会議の設立総会など、お弁当作りを行ったりして、たいへん喜ばれています。

訂正

前号二ページ定例議会議案中、監査委員に岡刈清一は、保苅清一の誤りでした。訂正し、おわびします。



《佳作》納税でみんなの町を明るい町に。 小林 照夫(黒中3年)



三百二十三万六千余円にも

目標額を大幅に上回る

毎年実施されている、赤い羽根共同募金運動は昨年十二月二十五日終了し、本町での目標割当額二百五十万八千円を七十二万八千円上回る、三百二十三万六千余円の大きな成果をおさめることができました。これは全町民の温かい善意の賜と感謝しております。

この厚志はさつそく恵まれない人達や施設に配分され、明るい灯をともしることができました。皆さんのご協力に対し厚く感謝を申し上げます。

新潟県史を

あなたの家庭にも一冊

新潟県立百年の記念事業として、昭和五十一年から始められた「新潟県史」全二十七巻の編さんも、順調に進行して来ましたが、三月末、いよいよ「近世、下越編」「近代、明治維新編」が刊行されます。

「新潟県史」は、原始・古代から現代までを全二十七巻にまとめようという大規模な編さん事業です。県内住民の一人でも多くが、これを手にして、過去をかえりみ、新潟県の明るい未来を展望する資とされるようおすめします。

【定価と申込方法】

- 資料編8・近世三・下越編 四十六百円
- 資料編13・近世一・明治維新編 一四十八百円

(いずれも、送料別実費)

▼申込先 新潟市学校町通一番町六〇

善意の窓

○ライオンズクラブ 二万五千九十二円を社会福祉協議会へ。

○山田広雄さん(白根市鷺ノ木新田) 満期拾得金千円を社会福祉協議会へ。

○ボーイスカウト西蒲原第一団、四万九千六百八十八円を社会福祉協議会へ。

○大矢幸子さん(興野三) 一円玉千五百二十円を社会福祉協議会へ。

新潟県総務部県史編さん室
0252(23)5511
内線3025

▼申込方法
「電話」又は「官製ハガキ」で氏名・住所・電話番号・入用券名冊数及び、公用・私用の別郵送か直接購入(この場合新潟市内の第一印刷所か、旭光社印刷所)に出向いて直接購入することの別を明示してください。

▼申込締切
昭和五十五年二月末日(購入もれないよう、出来るだけ早くお申し込みください)

にせ税理士にご注意



所得税や贈与税の申告の時期になり、税務書類の作成などを依頼することが多くなりますが、正規の税理士かどうかをよく確かめてから依頼するようにしてください。

にせ税理士は、法律に違反するばかりでなく、納税者に迷惑をかけることが多いので、税務署では厳しい態度で排除に努めております。

働きながら

高等教育を

働きながら高等学校教育を受けることができる定時制・通信制課程の生徒を次により募集しています。

●募集している学校

- 定時制 県内の公立高等学校二十九校
- 通信制 新潟高等学校 高田南城高等学校の二校

●願書提出
高田南城高等学校

●定時制 二月一日(二月七日正午)

●通信制 二月二十日(四月十日)

●問い合わせ
出願手続……出身中学校へ

●学習内容等……出願する高等学校へ

●その他……県教育庁高等学校教育課 (新潟市一番堀通町5924) 0235511
内線 3664 番へ 3665 番へ

たばこは町内の小売店で、買いました。

《佳作》税金を納めて明るい明日がくる。 小林 勇(黒中3年)